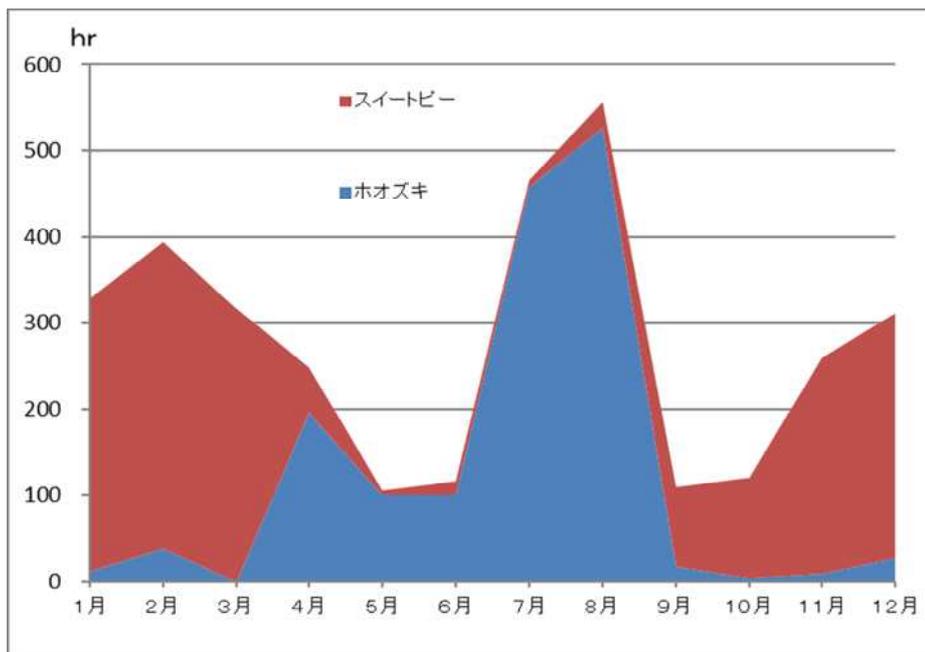


新規就農者モデルの生産概況と栽培・経営のポイント (R5~)
経営面積：ホオズキ30a、スイートピー6a、労働力：夫婦2名、雇用あり

生産地・面積		佐伯市全体 ホオズキ：佐伯市宇目を中心に3.4ha(R3) スイートピー：佐伯市宇目 1.8ha(R3)											
品目	ホオズキ	スイートピー	単位	備考									
販売量(枝)	23,715	108,000	本	ホオズキ:(ネット)9,300本/10a、出荷割合85% スイートピー:180000本/10a									
単価(枝)	325	30	円/本	部会平均実績									
販売量(実)	71,145		個	実ホオズキ									
単価(実)	24		円/個	実ホオズキ:枝出荷本数×3個									
販売額	小計	9,417,227	3,240,000	円									
	合計	12,657,227		円									
経費		9,481,273											
	原材料費	1,220,580		円	種苗、肥料、農薬、作業委託料など								
	施設・機械費	582,791		円	光熱費、修繕費など								
	減価償却費	1,348,500		円									
	出荷販売経費	3,593,335		円	農協・市場手数料、運賃、箱代ほか								
	専従者給与	960,000		円									
	雇用労賃	880,600	0	円									
		パート6名	パート0名		ホオズキ選花場を10a利用								
	支払地代	180,000		円	農地面積90aを想定。地代:20,000円/10a								
	その他	715,468		円									
所得額		3,175,953		円	左記は就農5年目を想定した数値です								
所得率		25		%									
家計費		2,400,000		円									
税(家計)		450,000		円									
償還財源		1,674,453		円	所得額-家計費-税(家計)+減価償却費								
償還金		1,409,154		円	就農時に借りた借金の返済(年間)								
差引余剰		265,300		円	次年度への繰り越し								
(注)販売量は目標となる目安の数字です。													
ホオズキ													
作型(作業体系)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
			◎		☆			■	○	□			
			定植		誘引			収穫	播種	移植			
栽培のポイント	土づくり	定植一ヶ月前までには土壌消毒を行い、堆肥を投入する。											
	定植	定植本数は約9,300本/10a											
	栽培管理	過乾燥、過灌水を避け、生育適温15~35℃を目標に温度管理を行う。生育期間中は、余分な脇芽を取り除く。実と葉の充実を図るため、収穫前30日頃に摘芯を行う。											
	病虫害ほか	受粉のためマルハナバチを4月上中旬に導入する場合、マルハナバチに影響のない農薬を使用する。実の色つけのため、エスレル処理を1~2回(出荷20日前、10日前)行う。											
経営のポイント	単価	300円前後で安定している。											
	販売	販売は、農協の県域共販体制が整備されている。											
	施設(投資)	雨よけハウス(30a、2,700万円)、動力噴霧機、軽トラック、トラクター、作業舎、倉庫、その他、支柱やエスレル噴霧機など											
	労働	夫婦2人の作業が中心。主な作業は播種、定植、薬剤防除、エスレル処理、収穫等。一番大変な作業は収穫、出荷調整で、雇用が必要。											

スイートピー													
作型(作業体系)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
						◇ 採種		○ 播種	種 子 冷	◎ 移植			
栽培のポイント	土づくり		有機質資材による土づくりと土壌診断に基づく適正施肥管理を行う。										
	播種、移植		育苗箱に播種し、根が伸長したら冷蔵庫へ。2週間～4週間程度冷蔵した後、移植。										
	栽培管理		栽培が長期にわたるため、肥効調節型の元肥を施用。日照量を確保するため白黒マルチの白を上面または、シルバーマルチを展張する。 圃場に垂直にネットを設置する。蔓の生長に応じて洗濯ばさみでネットに固定する。採花後は開花しないので、3～4輪開花してから採花し直ちに鮮度保持剤を使用し、水揚げする。 蔓の誘引、芽摘み、出荷調整の労働時間が多い。 種は自家採種できるので、優良系統の自家選抜を行い収量の確保に努める。										
	病虫害ほか		立枯性病害と害虫防除のため土壌消毒を徹底する。薬剤散布は定期的に行う。特に1月からは灰色かび病の発生に注意。										
経営のポイント	単価		33円程度。										
	販売		販売は、農協の県域共販体制が整備されている。										
	施設(投資)		ビニールハウス(連棟ハウス6a、1,500万円)、予冷库110万円、管理機、動力噴霧機、加温機、軽トラック、トラクター、倉庫										
	労働		夫婦2人の作業が中心。主な作業は採種、移植、誘引、薬剤防除、収穫、出荷調整等。										



施設・機械一覧

	規模・能力	費用(円)	補助率	自己負担額(円)
ホオズキハウス	30a	27,279,450	2/3	9,092,450
スイートピーハウス	6a	17,000,000	2/3	5,666,000
管理機	1台	930,000	2/3	310,000
アグリレット	1箇所	500,000	3/4	125,000
倉庫	1棟、10坪	2,400,000	3/4	600,000
トラクター	1台	2,317,700	3/4	579,425
予冷库	1台、1坪	1,000,000	3/4	250,000
動力噴霧機	1台	391,000	1/2	195,000
軽トラック	1台	1,400,000	補助なし	1,400,000
合計		53,218,150		18,217,875